いしかわ労福協

第 496 号　2009年5月25日

発行所　石川県労働者福祉協議会
発行責任者　上田弘志
編集人　綿　征一
〒920-0024　金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定価　一部　20円
昭和39年3月30日　第三種郵便物認可

「すべての働く者の連帯で『平和・人権・労働・環境・共生』に取り組み、労働を中心とする福祉型社会と自由で平和な世界をつくろう！」をメインスローガンに、第80回石川県統一メーデーが県内9会場で1万人が参加し開催された。

今年のメーデーも、小松能美会場が4月28日(火)に開催、残る８会場(珠洲能登・輪島穴水・七尾鹿島・羽咋・河北・白山野々市・加賀・金沢中央)は5月1日(金)に開かれた。

各会場では、「政府は一刻も早く180万人以上の雇用創出をはじめ、国民・労働者のセーフティーネット強化に係る政策を実現すべき」とするメーデー宣言や「労働者の使い捨ては許さない！今こそ公正と連帯の社会を実現しよう！」など16項目のサブスローガンを採択したほか、プラカード・デコレーション展などが行われたが、恒例のアトラクションは、厳しい経済状況を受け中止となった。

5月1日、金沢市の県中央公園で開かれた「石川県統一メーデー金沢中央大会」には約６千人が参加。狩山久弥連合石川事務局長の開会挨拶に続き、西田満明連合石川副会長を議長に選出した。

冒頭、メーデー実行委員会の上田弘志委員長が5月1日メーデー開催について「1984年の第54回大会で『メーデーの祝日化要求』を採択し、連合も

2003年の第40回中央委員会で5月1日を国民の祝日にし、4月29日から5月5日までを『太陽と緑の週』として、連休に制定すべきとした決議経過を踏まえ、連合石川および石川労福協は、今後も石川県統一メーデーを5月1日開催に拘っていく」と呼び掛けた。

また、世界的な金融・経済危機により、派遣切り、解雇、雇い止め等、多くの労働者の生活と雇用環境を悪化させている状況に対し、「連合石川として、雇用と就労・自立支援カンパ(トブ太カンパ)活動を推進し、離職者の就労ニーズを把握していくことや雇用調整助成金を始めとする各種助成金、教育・訓練の周知徹底、金融機関の貸し渋り等をチェックし、雇用危機克服に向けて、今後とも離職者対策を強化して行く」と訴えた。　**＝次ページへ**

その他、2009春季生活闘争の賃上げ集計(4月28日＝5回目)が昨年と比較して、額で266円下回っていることについて、「有額回答しない経営者の姿勢により回答・妥結状況が遅れ気味となっており、すべての組合が決着するまで未解決組合への激励行動と企業に対する早期解決への要請行動を展開する」と報告。次期衆議院選挙では、「暮らしを守る分岐点であり、すべての選挙区で勝利し、政権交代を勝ち取り、働く者の政策を実現して行こう」と語気を強め、「労働者の使い捨てを許さず、安心して働き、暮らすことのできる社会を実現させるため、組織拡大の取り組みも同時に進め、労働組合の社会的影響力を強めて行く」と述べ挨拶を締め括った。

上田弘志会長

続いて、来賓の谷本正憲知事、山出保金沢市長、奥田建民主党県総支部連合会副代表、宮下登詩子社民党県連合代表、金原博新進石川会長が順に祝辞を述べた後、西田議長が金沢市選出の県・市議会議員、連合石川顧問や協賛事業団体、県退職者連合の代表者を紹介し、スローガンを確認した。

次に、メーデー宣言を堂宮孝介連合石川青年女性委員会委員長が読み上げ、採択。プラカード・デコレーション展の審査発表を柚木稔コンクール審査委員長が報告した。

最後に、山口幸男連合金沢議長の音頭でガンバロウ三唱した後、参加者は片町方面と武蔵方面に分かれてデモ行進した。恒例のパレード賞に片町方面は情報労連・ＪＡＭ北陸・自治労、武蔵方面は電力総連・県教組・全国一般が選ばれた。

会場では式典に先立ち、産別・団体代表の取り組みを報告する「アピールコーナー」を実施した他、参加者にペットボトルのキャップ持参と就労・自立支援カンパ(トブ太カンパ)を呼び掛け、それぞれ会場で集約した。なお、県全体の集約結果は、カンパ金32,884円、キャップ量36,696個(79.7kg)で二酸化炭素削減効果288.98kg、ポリワクチン45.8人分となった。

アピールコーナー

連合石川「愛のエコキャップ運動」

構成組織・青年女性部「今こそ官も民も正規も非正規も連帯のとき」

連合金沢「第2回サラリーマン川柳優秀作品発表」

連合石川「非正規労働センター」

谷本正憲知事

山出保金沢市長

来賓挨拶

奥田建民主党県連副代表

宮下登詩子社民党県連代表

金原博新進石川代表

ガンバロウ三唱

プラ・デコ展

「ペットボトルキャップ」と「トブ太カンパ」の集約所

デモ行進

武蔵方面

片町方面

メーデー協賛行事

ボウリング大会

第80回メーデー協賛ボウリング大会(第43回石川県勤労者春季体育大会)は4月29日、金沢市のジャンボボールで行われ、249人の選手が第1(午前)・第2(午後)シフトに分かれ、1部(ＪＢＣ会員)、2部(一般)、3部(3人の合計年齢180歳以上)ごとに争われた。

団体では、第1シフトの1部で津田駒工業Ａ、2部でうさぎＡ、3部でフレンドクラブＡ、第2シフトの1部でこういち、2部サンケイ自動車がそれぞれ制した。

個人では、第1シフトの1部で松本久雄(山崎学習塾)、2部で谷彰英(うさぎ)、3部で南邦子(フレンド)、第2シフトの1部で中野幸一(こういち)、2部で庄村勝(しょういち)がそれぞれ優勝した。

上田会長が開会挨拶

【第1シフト】◇団体▽1部①津田駒工業A2070②山崎学習塾1950③キャンディーA1898▽2部①うさぎクA1791②クラッシュA1668③キャンディーB1632▽3部①フレンドA1768②同B1760③メンズフレンド1650◇個人▽1部①松本久雄(山崎学習塾)738②野村潤(津田駒)734＝HG289③中川外治(USN)717▽2部①谷彰英(うさぎ)641＝HG268②北川裕治(津田駒)615③宮沢健三(クラッシュ)602▽3部①南邦子(フレンド)612②金森きみ子(同)602③石野好子(同)596、HG金森省司(メンズフレンド)212

【第2シフト】◇団体▽1部①こういち1888②AKT1882③USN1867▽2部①サンケイ自動車1763②うさぎクラブA1711③葵クラブ1693◇個人▽1部①中野幸一(こういち)707＝HG267②大原啓三(津田駒)699③上野修二(USN)699▽2部①庄村勝(しょういち)648②川崎小六(AKT)629③辻まさ子(サンケイ自動車)627、HG池田嘉朗(クラッシュA)255

ロードレース大会

第80回メーデー協賛ロードレース大会(第43回石川県勤労者春季体育大会)は5月1日、県教育会館前千石通り→錦町→石川厚生年金会館前の7.4kmコースを男女51選手が健脚を競い、石川陸協登録者による第1部で堂谷芳範(北陸電力)が2連覇、登録者以外の第2部(男子)で新保外志秋(県職労B)が3連覇、第3部(女子)で直下典子(コマツ粟津工場健走会)が制した。上位3選手の合計タイムで争われる団体は、第1部金沢市従業員労組、第2部で県職労Ｂ、第3部でコマツ粟津工場健走会がそれぞれ優勝した。

【個人】▽第1部①堂谷芳範(北電)24分30秒②竹内聡一(金沢市従業員労組)25分36秒③加藤一実(同)26分6秒④宮崎明(同)26分40秒⑤新出幸彦(春風ク)26分43秒⑥北川真一(同)27分13秒⑦北口清(PFU)⑧中村宏一(金沢市従業員労組)⑨上田繁(北電)⑩谷健一(同)▽第2部①新保外志秋(県職労B)25分30秒②西出勝利(コマツ粟津工場健走会)25分46秒③原田清孝(北鉄走友会A)27分18秒④岡本幸二(一般)27分29秒⑤北渡(県職労B)27分54秒⑥村中克弘(同)28分29秒⑦中野真(北鉄走友会)⑧南満春(県職労B)⑨波田樹雄(同A)⑩北川一夫(北鉄走友会A)▽第3部①直下典子(コマツ粟津工場健走会)28分11秒②谷本小百合(同)33分31秒③北安子(同)34分47秒

【団体】▽第1部①金沢市従業員労組(宮崎、中村、竹内、加藤)1時間18分22秒②北電(谷、堂谷、上田)1時間23分26秒③春風ク(新出、北川、奥野哲平)1時間25分9秒▽第2部①県職労B(北、村中、南、新保)1時間21分53秒②北鉄走友会A(原田、北川、中野、東雅克、上田明人)1時間24分55秒③コマツ粟津工場健走会(木村俊一、山下豊、西出、川端一雄、林國夫、浜村賢哉)1時間32分7秒▽第3部①コマツ粟津工場健走会(谷本、北、直下)1時間36分29秒

連合石川・石川労福協
非正規労働センター「移動相談会」

移動相談

街頭宣伝

連合石川が設けている非正規労働相談センターは5月9日(土)午前10時～午後2時の間、金沢市香林坊の県教育会館で無料の「移動相談会」を開いた。

当日は、連合石川と県労福協のスタッフ14名が会場の準備や受付係をし、弁護士、社会保険労務士、司法書士の４名が派遣契約打ち切り解雇や自己破産、多重債務などを法律的立場から助言。ジョブいしかわと北陸労金県本部、連合石川の６名が就職相談や生活資金・就職安定資金の融資、労働問題全般などの相談に対応した。

８つのブースに分かれた会場では、開始まもなくから若者や中高年が次々と訪れ、17件の相談に対応。相談者には、緊急物資のおにぎりが配られた。

労福協関係では、就業相談を担当したジョブいしかわには６名が、北陸労働金庫には３名がそれぞれ相談に訪れた。

なお、上田弘志連合石川会長と奥田建民主党県連金沢総支部長は、会場周辺の香林坊と武蔵ヶ辻で街宣。離職者に対する取り組みや離職させない取り組みなどを訴えると共に、「政策と政治の転換は政権交代しかない」と話し、次期衆議選の支援を訴えた。

連合・労福協・労金協会・全労済
雇用と就労・自立支援カンパ運動がスタート

正規・非正規を問わず、多くの人々が解雇や雇い止めなどにより職を失い、セーフティネットからもこぼれ、極めて深刻な社会問題となっている。

こうした仲間の雇用と就労・自立支援のため、連合をはじめ労福協も含めた労働界あげての運動として、全ての働く者に連帯を呼びかけるカンパ活動（通称：トブ太カンパ）が3月3日からスタートした。

カンパ活動の発起人には、連合の高木会長を代表に、中央労福協の笹森会長のほか、労金協会、全労済、産別組織、地方連合会、退職者連合など、労働運動の代表が勢揃いした。また、経済アナリストの森永卓郎氏や、反貧困で活躍している宇都宮健児弁護士、湯浅誠氏なども活動趣旨に共鳴し賛同人として名を連ねていただいた。今後はさらに幅広く有識者、各界代表に賛同を呼びかけていくことにしている。

当面３ヶ月間を集中取り組み期間とし、労働組合員はもとより、街頭宣伝などで広く市民にカンパを呼びかけていく。労金の厚意により、労金窓口からの振込については手数料はかからない。

集まったカンパは、農業・介護・福祉分野などの雇用創出、新しい仕事に就くための職業訓練や能力開発、非正規労働者やシングルマザー等の支援などに関わる事業の資金支援に使われる。こうした支援事業に取り組むＮＰＯなどから幅広く申請を受け付け、外部有識者を含めた審査委員会で透明性を持って配分を決定する。

◆定額給付金の受け皿にも◆

折しも定額給付金を「もっと有効に使ってほしい」という圧倒的な国民の声に対し、今回のカンパでは、「こうした税金の使い途はおかしい！」「困っている人たちに役立てたい」との思いや怒りの受け皿ともなる。

事務局日誌

<4月>		
28(火)	防火避難訓練	フレンドパーク石川
<5月>		
1(金)	第80回石川県中央統一メーデー	県中央公園
7(木)	金沢資産税課調査	フレンドパーク石川
〃	事務局会議	フレンドパーク石川
9(土)	連合石川移動相談	教育会館
11(月)	石川労福協第４回人事委員会	連合石川
12(火)	消団連幹事会	フレンドパーク石川
13(水)	メーデー実行委員会	金沢市内
13(水)	河北LSC総会	サンライフ津幡
14(木)	勤労者互助会第２回定期総会	金沢都ホテル
〃	ろうきん運動推進委員合同会議	金沢都ホテル
18(月)	さわやかU第１回財政委員会	連合石川
〃	白山野々市LSC総会	白山労働会館
19(火)	勤労者ＳＣ第１回評議員会	金沢勤労者プラザ
〃	連合退職者連合G・G大会	金沢市芸術村
20(水)	石川労福協第5回人事委員会	フレンドパーク石川
21(木)	七尾鹿島LSC総会	七鹿労働福祉会館
23(土)	食みどり水ネット・支援米田植え	金沢市内

勤労者体育協会
第43回春季体育大会

石川県勤労者体育協会主催「第43回春季体育大会」の中盤の種目が行われた。

「弓道大会」は4月26日、白山市白山郷公園武道館鶴来弓道場で一人12射の団体戦と個人戦が行われ、団体は津田駒工業Ａ(川田彩夏、堂前秀樹、咲川雅敏)が制した。個人の男子は沖谷知明(北川ヒューテック)、女子は川田彩夏(津田駒工業)が優勝した。

「ソフトボール大会」は5月10日、金沢市営専光寺ソフトボール場で第4日目が開かれ、Ｅ組でZero、Ｆ組で45ersがそれぞれ優勝した。

なお、第3日(4月26日)のＤ組は雨天のため5月24日に順延した。

「剣道大会」は5月17日、県立武道館で行われ、団体は啓武館Ａ(村中、長谷川、寺西)が初優勝。個人は男子で佐藤博之(北陸綜警Ａ)が４連覇を果たし、女子は源紗季(中西造園)が初の栄冠をつかんだ。

なお、勤体協等が後援した「第８回金沢城リレーマラソン」が5月10日に開かれ、402チーム約4,400人が参加。石川県勤労者体育協会のＡチームが職場仲間部門で２位、同Ｂチームが22位となり、総合成績でＡチームが10位となった。

「利家とまつ」金沢城リレーマラソン

第43回県勤労者春季ソフトボール大会

◇Ｅ組▽予選　①Ｐａｎａ　Ｐ②Ｚｅｒｏ③桂記章④松本機械工業⑤ホンダ輪島⑥武部⑦粟崎ク⑧ハッピネスシニア　▽決勝　ＰａｎａＰ０００／０　Ｚｅｒｏ３５Ｘ／８　（Ｐ）長野－間嶋（Ｚ）野水－武田▽三塁打　萬野（Ｚ）　◇Ｆ組▽予選　①輪島崎②45ｅｒｓ③済生会金沢病院④クエスト⑤リベロ⑥県職パワーズ⑦日海装機⑧のんべ～ず　▽決勝　輪島崎　１２０１／４　45ｅｒｓ０４４／８　（輪）浅野－沖崎（45）米沢－亀井▽本塁打　沖崎、萬正、浅野（輪）鵜家（45）▽三塁打　宮下（輪）▽二塁打　鵜家、浜田（45）

第43回県勤労者春季剣道大会

◇団体▽決勝トーナメント　準々決勝　新化館Ａ２－１北陸綜警・警送、新化館Ｂ２－１北陸綜警Ｂ、啓武館Ａ２－１啓武館Ｂ、北陸綜警Ａ２－１かほく四六会▽準決勝　新化館Ｂ２－１新化館Ａ、啓武館Ａ２－１北陸綜警Ａ　▽決勝　啓武館Ａ　２－１　新化館Ｂ　◇個人▽男子　①佐藤博之（北陸綜警Ａ）②森尊史（新化館Ｂ）③中村一仁（中西造園）　北井淳之輔（新化館Ｂ）　▽女子　①源紗季（北陸綜警Ｂ）②富山綾乃（同）③中野美奈（森本剣友会Ｂ）四柳智恵（かほく市役所）

第43回県勤労者春季弓道大会

◇団体　①津田駒工業Ａ②鶴来弓友会Ａ（土谷加代子、牧野マリ子、真砂照正）③中村留精密工業（西田義人、山本祐路、北市誠）◇個人▽男子　①沖谷知明（北川ヒューテック）②奥平健太（津田駒工業）③川畑直樹（県庁）▽女子　①川田彩夏（津田駒工業）②牧野マリ子（鶴来弓友会）③沖谷なほ子（津幡町）

子育て支援
いしかわ緊急サポートネットワーク

会員募集状況／サポート状況　4月30日現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	11	4
わじま	2	12	4
ななお	6	4	0
はくい	2	5	0
かほく	15	58 (+3)	8
かなざわ	121	357 (+11)	65
はくさん	28	77 (+2)	2
こまつ・のみ	18	37 (+1)	8
かが	3	4	0
計	201	565 (+17)	91

(　)は前月比。尚サポート回数は、今年度の総数

さわやかU
グループホーム利用者とバスハイク

いしかわ介護ボランティアセンター(さわやかU)主催の新緑バスハイクが5月16日(土)、グループホーム利用者とボランティアら45名が参加し開催された。

当日はあいにくの曇り空となったが、午前9時30分にボランテイア会員14名を乗せたバスは労済会館前を出発。途中、金沢市寺地町で「グループホームふれあい」の利用者４名と職員・家族が、三十苅町で「グループホームひまわり」の利用者７名と合流し、『世界のガラス館』と『ゆのくにの森』に向かった。車中では澤信俊理事長の歓迎の挨拶の後、各グループホーム代表者からお礼と施設の状況等について説明があった。

『世界のガラス館』では、きらびやかなガラス工芸に利用者から驚きの声が上がり、「部屋に飾りたい」と工芸品を購入する利用者も多くいた。

次の目的地である『ゆのくにの森』では、昼食後の約１時間、それぞれが食菜館で『どら焼き』を作る体験を行ったり、九谷焼や加賀友禅など石川県の伝統工芸品を見て回り、楽しい時間を過ごした。また、参加者を訪ねて家族の方が突然会場を訪問し、おばあちゃんを囲んで息子夫婦、孫夫婦、ひ孫の４世代が歓談する場面もあり、ひ孫と話しているおばあちゃんの嬉しそうな顔が印象に残った。最高齢で参加した96歳の利用者は「この日を楽しみに待っていた。皆さんに連れて来ていただき本当に感謝している」と喜ばれ、バスハイクを実施してよかったと実感した。

14時30分には『ゆのくにの森』を出発し、両施設経由で16時に労済会館に全員無事に到着した。

ご協力いただいた両施設の皆さんやボランティア会員に心から感謝します。

いしかわ介護ＶＣ事務局長　宮本一二

石川県勤労者互助会
第2回定期総代会

石川県勤労者互助会「第2回定期総代会」が5月14日(木)、金沢都ホテルで開催された。

石川県勤労者互助会は、未組織で県内に居住または就業する者に対し、北陸労働金庫及び勤労者福祉事業団体等が行う事業の利用や紹介活動を行うことを目的とし、昨年3月28日に発足した。

総代会では、綿征一副会長が開会挨拶し、川口昭一会長が「昨年からの金融危機、世界同時不況で最も影響を受けた未組織の人たちが、労働金庫を利用しやすいように、より連携していく必要がある」と述べ、来賓の川淵尚志北陸労働金庫理事長が「この１年間、石川県勤労者互助会の実績が一番だったのは、それぞれの立場での地道な努力が実ったものである」と強調した。

引き続き、谷内英明事務局長が

2008年度活動報告と決算及び2009年度活動計画、予算案を提案、一明政行氏が会計監査報告し、質疑の後、全議案が承認された。

その中で、今年3月末現在で新規会員2,571名が登録され、総会員数は12,276名。預金総額118億円、融資残高453億円となり、１人当たりの利用残高は、預金967千円、融資3,692千円となったことが報告された。

また、2009年度活動計画では、チラシ配布や紹介活動等で会員拡大と労金取引の拡大を目指すことや、ろうきん営業店が主催する各種セミナー・イベント情報の提供を図ることなどを決めた。

石川県勤労者互助会事務局長　谷内英明

フレンドパーク石川
春の防火訓練

4月28日(火)午後1時30分より、石川県勤労者福祉文化会館(フレンドパーク石川)の防火訓練を実施した。

金沢市駅西消防署の高野仁史消防士長の指導の下、１階・喫茶ベストクックを出火元に想定して始まった避難訓練は、非常ベル通報→消防署連絡→館内放送→誘導避難→隊長報告と、各階の消火器を会館前の駐車場まで持って行き、即消火するという内容で行った。

避難訓練は、毎年実施しているためスムーズに行われたが、消火器訓練では、消火後の再点火に手間取り、各階の消火器係に十分な訓練ができなかった。

次に、１階消火栓を使用しての訓練では、綿征一フレンドパーク石川・防火管理者が操作方法を説明し、各テナントの代表６名が水圧の

強さを体験。初体験者からは「水の勢いの強さにビックリした」という声が聞かれた。

引き続き、高野消防士長より「本日は、実際に発生したときに近い訓練で良かった。今後も災害に備え、日常の訓練が大事」と締め括った。

最後に、才田巖自衛消防隊長が「毎年、春と秋に防火訓練を実施しているが、会館利用者の安全のためにもこの訓練を継続する」と挨拶し、訓練を終了した。

フレンドパーク石川事務局　吉村和実

※この機関紙は再生紙を使用しています。